

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
学習活動に生かす心理学		全教諭・養護教諭	6H	講義
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成30年10月20日(土)	80人	豊田 弘司(奈良教育大学・教授) 出口 拓彦(奈良教育大学・准教授) 中山 留美子(奈良教育大学・准教授)		
会場				
奈良教育大学				
<b>【講習の概要】</b>				
本講習は、調査データからみる学力を規定する要因の分析、教室内の対人関係と学習活動、協同学習と自己調整学習による授業づくり及び学校で生かせる学習方法の提案というテーマで構成されている。小学生、中学生の学力向上と学校適応、そして全般的な教育内容の充実のため有益な内容について解説する。受講者には各講義で解説された内容を理解し、その基礎的部分について自らの言葉で説明できるよう求める。				
<b>【小テーマ①】 調査データからみる学力を規定する要因の分析</b>			1. 5H	(担当講師:豊田 弘司)
講習形態	講義形式			
講習内容	学力を支える要因は多いが、本講では、基本的な生活習慣、社会的な生活習慣、学習習慣及び情動知能の4つの要因に注目する。調査結果から、4つの要因のそれぞれが学力を規定する程度を発達の観点から解説する。そして、そこから示唆される指導原則の概要を紹介する。			
到達目標・確認指標	学力を支える要因に関する基礎的な理解を養う。講習内容に関する基本用語に対する説明の適切性を評価する。			
キーワード	基本的な生活習慣, 学習習慣, 学力の向上			
<b>【小テーマ②】 教室内の対人関係と学習活動</b>			1. 5H	(担当講師:出口 拓彦)
講習形態	講義形式(演習を含むことがある)			
講習内容	子どもたちの対人関係・社会性という視点から、学習活動について解説する。特に、学習者間の相互作用を基にした学習形態である、グループ学習に関する諸問題について解説する。さらに、これらの内容に関する授業例を紹介する。			
到達目標・確認指標	教室内の対人関係・社会性という視点から、学習活動について考えることができる。また、講習内容をふまえて授業案等を考えることができる。			
キーワード	対人関係, 社会的スキル, 相互作用, グループ学習			
<b>【小テーマ③】 自律的な学びを導くグループ学習の工夫</b>			1. 5H	(担当講師:中山 留美子)
講習形態	講義形式			
講習内容	学び合いの中で個を育てる、授業の構造的工夫について扱う。具体的には、「協同学習」の考え方に基いて、仲間との学びの中でどのように個人の力を育成し、学業的達成を導くのかということについて理解することを目指す。			
到達目標・確認指標	「協同学習」についての基礎知識を習得する。講習内容に関わる用語説明の適切性を評価する。			
キーワード	学び合い, 協同学習, 自律的な学び			
<b>【小テーマ④】 学校で生かせる学習方法の提案</b>			1. 5H	(担当講師:豊田 弘司)
講習形態	講義形式			
講習内容	発達段階に応じた学習指導のあり方についてまとめるとともに、具体的な学習方法のデモンストレーションを行う。主な学習方法としては、学力を支える記憶のための記憶方略、効果的な復習、自己選択の重要性、自己修正の有効性などである。また、学校での実践的な取り組みの方向性を提案する。			
到達目標・確認指標	発達段階に応じた学習指導のあり方についての基礎知識を習得する。講習内容の学習指導についての説明の適切性を評価する。			
キーワード	効果的な復習, 自己選択, 修正活動の意義			
試験方法	小テーマ①～④ごとに、講習の最後に10分程度の筆記試験を行う。			
成績評価の方法・基準等	4つの筆記試験(小テーマ①～④)をもとに、成績を評価する(各25点×4=100点満点)。総合点で60点以上を合格とする。			